

特別展示「京を発掘！出土品から見た歴史」によせて

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



特別展示「京を発掘！出土品から見た歴史」展示風景

古くからの伝統が生き続ける都市・京都は、長い歴史が積み重ねられ、市内各所にある様々な史跡、名勝、天然記念物や石碑、駒札などにより、原始から近代にいたる歴史を体感することができます。そしてさらに、京都の地下には、実はまだまだ多くの歴史が眠っていることを皆さんはご存知でしょうか。京都に住んでいた人々が長い年月の間に残した痕跡が、遺跡・遺物として土の中に、今もまだ息づいているのです。

京都市考古資料館では、平成27年度特別展示として「京を発掘！出土品から見た歴史」を開催しています。これは、2012年から2014年まで「遺物はささやく」と題し

て、京都新聞の京都版に毎週日曜日、連載された当研究所の発掘調査成果の記事をまとめたものが、2015年10月京都新聞出版センターから『京を発掘！出土品から見た歴史』として発刊されたことを受けた特別展示です。

1976年に京都市埋蔵文化財研究所が設立されて以降、40年にわたって調査されてきた遺物の中から選りすぐりのものを集め、それらを「原始」「古代」「中世」「近世以降」に分けて時代別に展示しています。また、その一部は2階常設展示でも展開しています。さらに3つのスポット展示は、日本の貨幣として当館所蔵の金貨・銀貨を一堂に並べた「京から出土した金

貨・銀貨」、最近注目されている仮名文字の墨書土器を集めた「土器に描かれた文字」、遺物から見た国際交流として、ヨーロッパとの交流を示すポルトガル木簡と海外から輸入されたガラス製品や陶磁器を取り上げた「出土品からみた国際交流」を用意しました。

また、京都市埋蔵文化財研究所が行なっている発掘調査や、京都市考古資料館の普及啓発活動などの様子を写真パネルや発掘調査に使用する道具を展示することで、皆さまにご紹介しています。

今回の展示では、このような京都における歴史の重層、出土遺物の多様さを実感していただけるものと思います。(濱崎範子)

<各展示コーナー>



原始（旧石器時代～古墳時代）
中区遺跡出土 刀剣形石製品



古代（飛鳥時代～平安時代）
冷泉院跡出土 緑釉陶器



中世（鎌倉時代～安土桃山時代）
旧二条城跡出土 石仏群、一条紙屋川出土 キリシタン墓碑



近世以降（江戸時代～近代）
三条通界隈出土 茶陶

<スポット展示>



「京から出土した金貨・銀貨」



「土器に描かれた文字」



「出土品からみた国際交流」

<関連展示>



発掘調査の流れ・普及啓発活動



2階常設展示（一部）